

企画競争実施結果の公示

国土交通省総合政策局
地域交通課長

令和7年9月8日付けで公示を行った「令和7年度 地域公共交通計画のアップデートに向けた地域交通行政等に関する調査」について、企画競争を実施した結果、下記のとおりとなりました。

記

(1) 特定された企画提案書

提案者の名称 復建調査設計株式会社・一般財団法人計量計画研究所・株式会社ライテック共同提案体

住 所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目8-15（復建調査設計）
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4-14（計量計画研究所）
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地（ライテック）

代表者氏名 吉野 大介（復建調査設計）
秋元 伸裕（計量計画研究所）
佐藤 直樹（ライテック）

特 定 日 令和7年10月30日

(2) 審査結果

評価項目	配点	採点結果	
		A	B
1.会社概要・実施体制	80	66	60
地域交通の計画・支援制度等について、過去の業務実績等を通じて、専門的なノウハウを有することが客観的に判断できること。また、専門性・資格を有した人材を配置していること。	80	66	60
2.企画提案書	320	261	215
(1) 業務の目的・内容について十分に理解した提案内容となっていること。	80	65	53
(2) 調査・分析について、具体的かつ実現可能な提案となっていること。	60	49	43
(3) 別紙1の3(1)について、現行の「アップデートガイドンス」および『交通空白』解消に向けた取組方針2025を理解した上で、追加すべき内容が体系的に整理された改訂・拡充案が提案されていること。	60	49	38
(4) 別紙1の3(2)について、地方公共団体の回答に係る労力や地方運輸局での審査に係る労力を最小限にするとともに、集計を効率的かつ確実に行える手法が提案されていること。	40	32	30
(5) 別紙1の3(3)について、地域特性等を考慮し調査対象とすべき地方公共団体を選定した上で、調査を行う上で効率的かつ確実なデータ収集が行えるような手法が提案されていること。また、地方公共団体が分析結果を簡易に活用できる方法および交通空白地の定義設定の方法が多角的な観点から提案されていること。	60	50	36
(6) 提示された予算及び期間内で、最大限の効率を確保し、適切な成果を確保できる提案内容となっていること。	20	16	15
3.ワーク・ライフ・バランス等の推進度	20	16	20
女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定（労働時間の働き方に係る基準を満たすことが必要））、次世代法に基づく認定（くるみん認定・トライくるみん認定・ブラチナくるみん認定）、若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定）、を受けているかの有無、または労働者100人以下の企業で、女性活躍推進法に基づく行動計画を策定しているか。	20	16	20
合計	420	343	295

以上